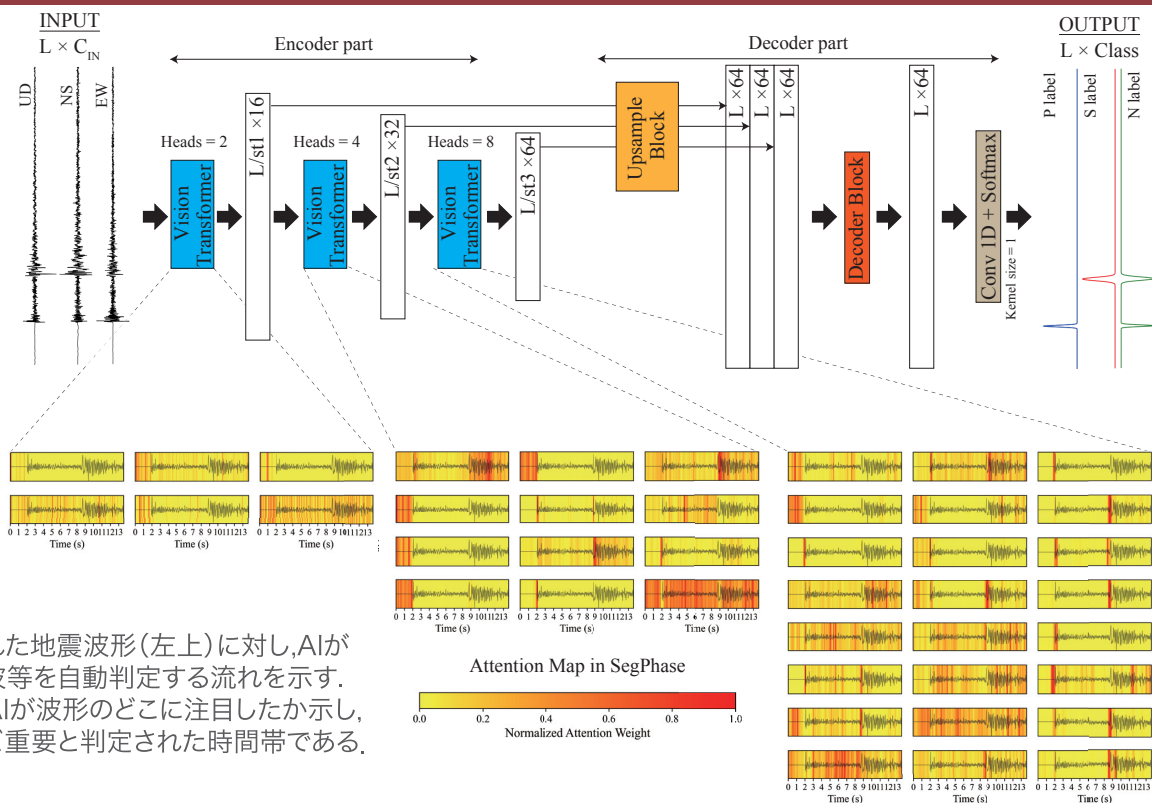


新まんてんてらこや (第13回)

深層学習が拓く地震カタログ化の新時代 — 観測波形からの自動検出と分類 —



入力された地震波形(左上)に対し、AIがP波・S波等を自動判定する流れを示す。下部はAIが波形のどこに注目したかを示し、赤いほど重要と判定された時間帯である。

AIが地震を見つける
新しい世界へ！

講師：加藤慎也

ピッカピカの新任6日目！
京都大学防災研究所助教

[日時] 2026年9月6日(日)13時30分～15時

[会場] 京都大学 阿武山観測所(NPO会員はオンライン視聴可)

[申込] contact@npo-abuyama.org 宛メールで直接お申込下さい

「まんてんてらこや参加希望」、氏名(複数人可)、当NPO会員か非会員かを明記しお送り下さい

[参加費] 一般500円(当日、受付でお支払い願います。NPO会員は無料)

[アフタータイム] 講演終了後約30分間、希望される方は講師や観測所メンバーと
講演内容やNPO活動についてお気軽にお話し頂くことができます

[問合せ] contact@npo-abuyama.org

「新まんてんてらこや」は、地震学や防災学について、最新の研究成果や役立つ話題をわかりやすくお伝えする講演会シリーズです。以前開催していた「公開講座」を衣替えし、京都大学防災研究所地震災害研究センターの協力の下、「NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム」の主催で3ヶ月に一度のペースで開催しています。多くのみなさまにご参加頂ければ幸いです。

最近の開催履歴：

- 第9回：2025年9月7日 「南海トラフ地震の真実」の真実 京都大学名誉教授・橋本学
- 第10回：2025年12月7日 世界の人々は災害をどう見ているのか 京大防災研・中野元太
- 第11回：2026年3月1日 地下から火山を読む 京大防災研・畑真紀
- 第12回：2026年6月7日 次の南海トラフの巨大地震に備える 京大防災研・伊藤喜宏

主催：NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

後援：高槻市

新まんてんてらこや 第13回

深層学習が拓く地震カタログ化の新時代 —観測波形からの自動検出と分類—



講師紹介:

加藤慎也 (かとうしんや)
京都大学防災研究所 助教

略歴:

2023年1月 京都大学大学院 地球惑星科学専攻
博士後期課程修了 博士(理学) 取得
2023年3月 東京大学地震研究所 特任研究員
2026年9月 京都大学防災研究所 地震災害研究センター
内陸地震研究領域 助教

講演概要:

地震が「いつ・どこで・どのくらいの規模で発生したのか」をまとめた地震カタログは、地震活動の理解や防災対策の基礎となる重要な情報です。しかし、日本には多数の地震観測点があり、日々記録される膨大な地震波形を人の手だけで解析することは難しくなっています。

本講演では、地震波形からP波・S波の到着時刻や揺れ始めの向きなどを自動的に読み取り、地震を検出・分類する深層学習技術を紹介します。また、深層学習が複雑な地震波形から特徴を見つけ出す仕組みを分かりやすく解説するとともに、大量の観測データを処理して地震カタログを作成するまでの流れを紹介します。

NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアムは、京都大学阿武山観測所がこれまで取り組んできた「地震サイエンスミュージアム」活動を、「オープンサイエンス」運動としてさらに発展させたいと考え、2021年4月に設立しました。

当法人は、正会員、準会員、賛助会員を募集しています。どなたでもご入会いただくことが可能です。会員には、講演会の参加費が無料になるなど、様々な特典があります。詳しくはホームページをご覧ください。



特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

所在地: 〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944

京都大学防災研究所阿武山観測所内



<https://npo-abuyama.org>